

農村歌舞伎って知ってる？

What's "NOUSON KABUKI"?

神戸市北区は「農村歌舞伎」と「農村歌舞伎舞台」がどちらも残っている、とても貴重な都市です。

そんな神戸ならではの文化を、たくさんの人に知って、触れてもらいたいと思い、夏休みに、農村歌舞伎に関わる人たちの様々な体験会を開催します。

実際に、農村歌舞伎に携わるプロから学べる貴重な機会！

ぜひ、いろいろな体験会に参加して、新しいことを知ってみよう！

農村歌舞伎はこうしてできている！ 舞台をつくる人たちを知ろう、体験しよう！

役者部門

役者

あなたも立派な歌舞伎役者
～役者気分を満喫しよう～

衣裳

プロの手で
歌舞伎役者に
へんしん！

化粧

白塗り体験！
歌舞伎化粧で
きみもヒーロー！

歌舞伎音楽部門

長唄

プロに学ぶ歌舞伎音楽
“長唄”体験会

義太夫

歌舞伎のナレーター
“義太夫”に挑戦！

付け打ち

世界でひとつだけの音、
“付け打ち”を体験しよう！

道具制作部門

小道具

「新版歌祭文野崎村」の演目で
使用される手紙を書こう！

※7月14日のイベントで出店します。詳細はInstagramをご確認ください。

大道具

舞台上で使われる大道具
“駕籠(かご)”をみんなで作ろう！



歌舞伎ってなに？

みなさん、「歌舞伎」ってなんだか知っていますか？

実はこの「歌舞伎」という三文字からそのまま読み取ることができるんです。もともと「かぶき」という言葉は、[奇抜な身なりや行動をする]という意味の「傾く」が名詞になったもので、現在の「歌舞伎」という名称は当て字が定着したものです。

「歌」音楽、「舞」舞踊、「伎」役者や役者のわざ(=演技)。

この三要素が織りなす総合舞台芸術、それが「歌舞伎」なのです。

歌 …… 音楽

舞 …… 舞踊

伎 …… 役者や役者のわざ(=演技)

神戸の“農村”歌舞伎と、農村歌舞伎舞台について

地元で楽しまれていた農村歌舞伎

では、「農村歌舞伎」は歌舞伎とどう違うのでしょうか？

江戸～明治時代に農民によって娯楽として行われていた素人歌舞伎であり、秋の収穫を祝うときなどに、その土地の祭礼として行われたそうです。

では、農村歌舞伎はどのように広まったのでしょうか。

江戸や上方、京で流行していた歌舞伎。全国の地方にも歌舞伎熱が伝わり、各地で芝居小屋を作って地歌舞伎を上演するようになりました。ここ神戸の農村歌舞伎は、播州高室(今の加西市)から吉川、淡河を経て伝わり、山田町には14棟もの舞台が作られました。芝居小屋はほとんどが神社の境内に作られ、幕府の厳しい贅沢の取り締まりの中で、神様に見せるという建前で上演していたようです。

若中(青年団)を中心に一か月ほどかけて稽古し、上演。上演会は夕方から始まり、深夜まで行われました。地域ごとに持ち回りで、他の地域を招待するなど、交流の場でもありました。上谷上の宮討座は生田、神戸までも遠征していた記録があり、熱心さがわかります。

(参考:名生昭雄編著「兵庫県の農村舞台」)



北区の農村歌舞伎舞台と上演会

神戸市北区には、谷上駅近くの上谷上農村歌舞伎舞台と、箕谷駅近くの下谷上農村歌舞伎舞台が現在でも農村歌舞伎を上演可能な状態で残っています。茅葺き屋根の農村歌舞伎舞台は貴重なものであるため、どちらも文化財に指定されています。

この農村歌舞伎舞台には、それぞれ異なる仕掛けが施されています。上谷上農村歌舞伎舞台は、場面転換する仕組みとして「床几回し」という特徴的な機構があります。また、下谷上農村歌舞伎舞台には切り込み式の回り舞台と、花道の一部が回転して、反り橋が出る特殊機構が取り入れられています。実はどちらも江戸時代の人々が考えた仕組みです。

神戸市では、神戸すずらん歌舞伎、六甲丹生かぶきの2つの団体が出演して「北区農村歌舞伎上演会」が毎年秋に開催されています。

今年は上谷上農村歌舞伎舞台での上演会です。ぜひ当日もきてくださいね。



サポーター募集中!

育てる会では、お稽古やイベント時、上演会の本番の記録撮影のカメラマン、稽古のサポート(子どもの相手・お茶を出す・カセットを押す係)、当日の運営スタッフなど、サポーターを募集しています! ご興味ある方は、お問い合わせまでご連絡ください。

お問い合わせ

神戸市北区農村歌舞伎を育てる会

農村歌舞伎上演会

検索

メール

info.kobe.nousonkabuki@gmail.com

Instagram

@kobe_nousonkabuki



農村歌舞伎の世界を

体験しよう!

和のこころに
ふれる夏

プロに学ぶ!

夏のこども歌舞伎体験会

神戸に農村歌舞伎があるって知ってた?

役者だけでなく、化粧する人、

着付けをする人、音楽を奏でる人…

いろいろな人が協力して農村歌舞伎はできています。

ここでしか体験できないプロの作法や思いに触れて、

特別な思い出ができる夏にしよう!



対象

神戸市内の小・中学生

市外の方でもご参加いただけます。一部プログラムを除き、観覧のみも可能です。
詳しくは申込みフォームをご覧ください。

2024年

7月6日(土)~
8月24日(土)

参加無料

期間内にさまざまなプログラムがあります!詳しくは中面をご覧ください。→

体験会プログラム

期間内にさまざまなプログラムを開催！
気になる方法で歌舞伎に関わってみよう！

会場へのアクセスなど、
詳細はこちら



神戸市WEBサイト

やくしゃ
役者

あなたも立派な歌舞伎役者

～役者気分を満喫しよう～ 指導 六甲丹生かぶき

戦隊ヒーローのモデルである歌舞伎の有名な演目「白浪五人男」。盗賊(五人男)を捕まえるお役人(捕り手(とりて)と言います)の役を体験してもらいます。五人男とのかけあいの台詞と十手を持つての立ち回りを行います。約10分の演目を五人男と一緒に観覧します。複数回開催しますが、1回のご参加でも歌舞伎の魅力を体験できる内容となっています。

観覧のみもOK

日時 ① 7/6(土) 16:00～17:00 ③ 8/10(土) 16:00～17:00
② 7/27(土) 16:00～17:00 ④ 8/24(土) 16:00～17:00

場所 上谷上農村歌舞伎舞台 定員 各回10名

申込 事前申込み制 二次元コードよりお申し込みください。

申込締切日 ① 6/28(金) ③ 8/2(金)
② 7/19(金) ④ 8/16(金)

注意事項 ※雨天中止 中止の場合は前日19時までにご連絡させていただきます。
※複数回参加していただくことにより上演会の舞台に立ていただくことも可能です。
※9月以降も実施予定です。詳細は決まり次第WEBサイト等でお知らせします。



やー！

役者も演じる



いしゅう
衣裳

プロの手で歌舞伎役者に へんしん!

講師 矢田 賢 / 酒井 裕之

歌舞伎を観る楽しみの一つに、その豪華な衣裳があります。現役の歌舞伎で活躍している着付け師と床山(かつら師)の手によりあなたもお姫様や連獅子に大変身!衣裳もかつらも本物の減多にない機会です!当日は衣裳とかつらを着けての撮影スペースも用意しています。※お化粧はしません。

日時 8/11(日) 13:00～16:00 (1部・2部制)

場所 すずらんホール多目的ホール 定員 各回5名

申込 事前申込み制 二次元コードよりお申し込みください。
申し込み完了後、10種類の衣裳からお好きなものを選択していただけます。
(1人一着のみの先着順です。)衣裳によって参加時間が変動いたしますので、お知らせいたします。

申込締切日 7/20(土)



講師

矢田 賢

(株)日本舞踊専門

京都生まれ京育ち。
京都にある(株)日本舞踊専門 上島衣裳店にて35年勤務。



講師

酒井 裕之

酒井かつら

次男として生まれかつら屋を16歳で叔父の手伝いを始める。
18歳、見聞を広げるため松竹大歌舞伎のかつら屋「東京演劇かつら」に入社。23歳 東京演劇かつらを退社後実家である酒井かつらに戻り日本舞踊等のかつら制作に取り組む。30歳、日本舞踊のかつら制作の他に見聞を広めたいと思い会社を退社、上田かつらに入社、大衆演劇に携わる。40歳で会社を退社し個人でかつら屋を立ち上げ、現在に至る。



講師

立花 志十郎

NPO法人伝統文化みらい塾理事長
日本舞踊宗家立花流師範

神戸市東灘区出身。国立劇場第15期歌舞伎俳優養成所を修了し、松竹大歌舞伎に従事したのち、フリーの俳優として国内外の舞台を動めるほか、テレビCM、舞台の振付・所作指導や全国の地芝居(素人歌舞伎やこども歌舞伎)の演技指導を行っている。2010年には歌舞伎を中心とした伝統芸能・文化の普及と保存を目的としてNPO法人伝統文化みらい塾を設立し、誰でも楽しく本格的な歌舞伎を学べる歌舞伎教室の開催や、自治体や教育委員会などの依頼を受け、学校公演やワークショップ、教職員の研修、生涯学習講座などを多数行っている。

けしろう
化粧

白塗り体験!歌舞伎化粧できみもヒーロー!

講師 立花 志十郎 / 山下 奈央人

歌舞伎のみならず、日本文化を象徴するデザインとして様々なところで目にする「隈取」は歌舞伎独自の化粧法です。プロの化粧師に歌舞伎の化粧をしてもらいます。隈取や女役、男役など数種類の中から当日お好きなものを選んでご自身のお顔にお化粧してもらいます。歌舞伎の背景幕の撮影スペースも用意しています。

日時 8/17(土) 第1部 14:30~16:00 場所 すずらんホール 多目的ホール
第2部 16:00~17:30 定員 各回5名

申込 事前申込み制 二次元コードよりお申し込みください。

申込締切日 8/9(金)



なが うた
長唄

プロに学ぶ歌舞伎音楽 “長唄”体験会

～江戸時代の戦隊ヒーローのテーマ音楽～

講師 東音松浦麻矢 / 稀音家温季 / 松永和三絃季 / 松永和三絃野
望月太美一希 / 望月太津友貴 / 藤舎竹生

観覧のみもOK

長唄は舞台上でメロディーに乗せて唄う出囃子の他、“パラパラ”という雨の音、“ひゅ〜ドロドロ”という幽霊の音、虫の鳴き声などの効果音を様々な楽器を使って表現します。プロの長唄演奏家の指導で歌舞伎の演目「白浪五人男」の長唄を練習し来場者全員で唄います。音あてクイズをしたりプロの演奏を聴いたり、もりだくさんの楽しい体験会です。

日時 7/28(日) 13:00~15:00 場所 すずらんホール 大ホール 定員 楽器体験 20名

申込 楽器体験のみ事前申込み制 二次元コードよりお申し込みください。
※当日飛び入り参加大歓迎です。

申込締切日 7/20(土)



歌舞伎指導

ぎだ ゆう
義太夫

歌舞伎のナレーター“義太夫”に挑戦!

講師 鶴澤 友球

観覧のみもOK

アニメやドラマで「後半へ続く…」 「そして数年が経ちました」など台詞ではなく、場面を説明してくれる人がいますね。歌舞伎の中でその役割を果たすのが「義太夫(竹本)」です。三味線の音を活かしながら、声音(こわね)を使い分けて、声だけで物語を魅せます。プロから学んで、本を読むだけではなく、自己表現力がアップする体験会です。

日時 8/4(日) 13:00~15:00 場所 内田家住宅 定員 10名

申込 事前申込み制 二次元コードよりお申し込みください。

申込締切日 7/27(土)



講師

山下 奈央人

京都出身。叔父の師匠から誘われ、16歳の時に弟子入りし、化粧師の仕事をして現在に至る。現在は化粧師の数が減少しており、多方面の助っ人としても活躍している。



講師

東音松浦麻矢

長唄東友会師範 / 長唄協会会員
長唄演奏家グループ「玄友会」

神戸市兵庫区生まれ。平成8年東京藝術大学音楽学部邦楽科長唄専攻卒業。9歳から、長唄を東音松田全代師に、三味線を故東音菊岡裕晃師に続き、東音伊勢弥生師に師事。平成11年長唄東友会師範を取得。現在関西を中心に、演奏活動や小中学校での講演、体験教室など、邦楽普及に積極的に取り組む。学校公演や、邦楽普及活動を目的にプロの長唄演奏家グループ「玄友会」を結成、代表を務める。



講師

望月太美一希

長唄囃子方
一般社団法人 関西伝統芸能女流振興会 代表理事

大阪府出身。幼少期より日本の伝統芸能に触れ、6歳より望月太明一郎に師事。9歳より松尾塾子供歌舞伎に入塾。卒業後、元市川少女歌舞伎 市川梅香に師事。垂井町曳山こども歌舞伎、浅草こども歌舞伎、甲南大学歌舞伎文楽研究部、富士宮歌舞伎親子教室、大阪府立東住吉高校等へ歌舞伎指導。

今年の農村歌舞伎上演会は…

2024年 **10月27日(日)!** 場所 上谷上農村歌舞伎舞台

当日は参加型上演会と題し、いろいろな企画を準備中です。詳細はInstagram、……神戸市WEBサイトで随時公開していきますので、ぜひチェックしてください!



つけ打ち

世界でひとつだけの音、 “つけ打ち”を体験しよう!

観覧のみもOK

講師 山崎 徹 / 花柳 都弥葵

男子に一番人気! 思いっきり大きな音を鳴らして歌舞伎を引き立てるツケを体験! 歌舞伎において、見得をするとき(決めポーズの瞬間)、重要人物が登場する足音、馬や狐など動物の足音、物が落ちたときなどのアクセントとなる音が「ツケ」です。2本のつけ木と1枚のつけ板から生まれる様々な音、歌舞伎ならではの表現方法を、現在大活躍中のプロのつけ打ち師と一緒に体験してみましょう。

日時 **8/18(日) 13:00~15:00** 場所 内田家住宅 定員 なし

申込 事前申込み制 二次元コードよりお申し込みください。
※当日飛び入り大歓迎です。

申込締切日 8/10(土)



楽を知る



舞台をつくる

大道具

舞台上で使われる大道具 “駕籠(かご)”をみんなで作ろう!

歌舞伎舞台上で使われる大道具を制作します。作るのは… 駕籠(かご/江戸時代のタクシー)、舟、梅の木など。秋の上演会で実際に使われますので、そちらもお楽しみに♪

観覧のみもOK

日時 **8/12(月・祝) 9:00~12:00**

場所 上谷上農村歌舞伎舞台 定員 10名

申込 事前申込み制 二次元コードよりお申し込みください。

申込締切日 8/4(日)



すべての体験プログラム
申込みはこちら



申込みフォーム



講師

鶴澤 友球

芸道一路会、鶴澤友球会主宰

南あわじ市出身、淡路市在住。滋賀大学大学院修了。修士論文の研究をきっかけに義太夫節に傾倒。2000年(故)鶴澤友球師(人間国宝)に入門。2003年に鶴澤友球と名乗る。2004年初舞台および(財)人形浄瑠璃因協会に入会。以後、フリーランスの義太夫節三味線奏者として演奏・研究・教育の各方面で活動中。



講師

山崎 徹

T²Generation代表/つけの會主宰
歌舞伎つけ打ち専門職

1989年(有)ライフ美術社<現(株)ライフ総合舞台>入社。1990年秋に上京後、フリーランスを経て1992年10月(株)PAC入社。新橋演舞場に配属され、本格的につけ打ちでの活動をスタート。以来、国内・海外での大歌舞伎公演を中心に従事。2020年8月(株)PACを退社、T²Generationを立ち上げ、つけ打ちを通じた文化活動支援を開始、日々、歌舞伎に寄り添いながらその経験を活かし多彩な分野のコラボレーション作品でチャレンジを続けている。



講師

花柳 都弥葵

花柳都弥葵日本舞踊教室代表/うたの会主宰

日本舞踊家、大阪で魚屋を営む家に生まれる。幼少期は服より着物、サンダルより草履を愛用。大好きな着物を着たくて日本舞踊を習い始める。2019年より文化庁親子教室事業に於いて日本舞踊講師を務める。公益社団法人 日本舞踊協会会員、一般社団法人 関西伝統芸能女流振興会会員